

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBUN NEWS

NURSE LETTER 8 Month



ふれあい看護体験

南6病棟 箱崎 里奈

7月22日にふれあい看護体験がおこなわれました。将来看護師を目指す高校生！やっぱり看護師になるのは辞めたと思わせないように患者さんのケアと一緒に行いました。目をキラキラさせ、何をするのも驚いていました。最後に高校生から、「仕事楽しそうですね。」と言われ、うれしかったです。看護師になりたいという気持ちを強くすることができたかなと思いました。

今度は看護師となり、ぜひこの労災病院に来て欲しいです。



医療マネジメント学会

北7病棟 研山 幸子

6/20・21の二日間名古屋国際会議場で日本医療マネジメント学会、学術総会が開催されました。安全・安心・信頼の医療～未来につづく地域医療連携～というテーマのもと、「これからの医療安全」「地域連携クリニカルパスの現状と医療の質」他7つの分野に分かれ、発表・シンポジウムが行われました。

高齢の患者さまの退院支援について日々難しさを感じている中、他病院で退院支援のシステムが確立されている事に感心したり、考えさせられた面も多々ありました。今後も他職種と連携し、一層の努力が必要だと思いました。

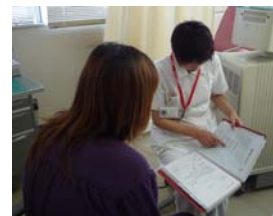
緩和医療学会

北4病棟 三谷 裕美子

7/4・5の二日間静岡で日本緩和医療学会が、テーマ「広げる・深める・つなげる～技と心～」とし開催されました。緩和医療の現場も従来の緩和ケア病棟から一般病棟、緩和ケア外来へと移行されています。臨床現場では、大切な家族を失うという厳しい状況に直面している家族と援助関係を形成することの困難さや、家族のもつ問題への対応に悩むスタッフも多く、「遺族外来」「家族外来」「チャイルドスペシャリスト」を設け、問題に対応し少しでも軽減を図っている医療機関もあります。私たちも一人で抱え込まずみんなで話し合うこと、話し合う場を設けることが大切だと思いました。また大切な人の喪失の渦中にある家族とどのように向き合い、ケアを提供していくのかを考えていく必要があると思いました。

北4病棟発信 来たれ 妊婦! ～助産師による外来保健指導～

近年、妊婦さんが出産に対し主体性を持てるような関わりが重要であると言われています。北4助産師も妊娠期～褥婦を通した継続看護の重要性を日々感じていました。そこで今年6月より新たな取り組みとして平日のフルタイム、病棟助産師が産婦人科外来で妊娠各期の指導やおっぱい相談を行っています。急なお産の時でも知った顔＝助産師がいるので安心との評判も…。これから更に妊婦さんのニーズに応えられるよう体制の定着化を図っていき、妊婦さんが不安なく主体的に分娩に望むことができるようサポートしていきたいと思います。職員の皆さんも、ぜひ当院でお産を！ 私たちに任せてもらえれば絶対損はなし、お待ちしております。



(北4助産師 加地真琴)

つばやき・・・AUG.2008

あなたにとって
一番大切な時間は
何ですか？

How To Aromatherapy ～Page.6

(R)

だる～いこの季節・・・朝起きたらシュッと♪ひと吹きして♪体をシャキッと目覚めさせましょう♪



<目覚めのアロマスプレー>

レシピ1 ★ペパーミント5drop+グレープフルーツ5drop+水50ml

レシピ2 ★ユー加利3drop+オレンジスイート5drop+ローズマリー2drop+水50ml